

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

1. SDGsの実現に向けた、コンパクトシティ戦略による付加価値創造都市形成事業 [R1~R5]

富山市型コンパクトシティ戦略を機軸としながら、SDGsの取組を推進することで、これまで進めてきたLRTネットワークをはじめとする公共交通の活性化施策に加え、再生可能エネルギー等の地域資源の地産地消を達成する自立分散型エネルギーインフラのネットワークを組み合わせることにより、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを一層深化させ、技術・社会イノベーションを創出し、持続可能な付加価値の創造を目指す。

加えて、健康志向や長寿社会を背景とした漢方薬・生薬ニーズの高まり等をふまえ、医療系大学の知見を活用した薬用植物栽培システムの構築、IoT等を活用した「えごま」を含めた地域特産の戦略的な開発と安定生産システムの確立、さらに関連産業の先端技術の応用展開を図ることにより、技術・社会イノベーションの創出と地域経済を活性化させるヘルシー&スマートシティの形成を目指す。

また、企業版ふるさと納税制度に基づく寄附金を活用するなど、官民連携し事業を実施する。

総事業費(千円)

R1	R2	R3	R4	R5	期間計
61,710	60,587	131,727	135,568	79,719	469,310

(1) SDGs普及展開事業(事業費:91,795千円)

「住み続けられるまちづくり」の達成のために、市民にSDGsの理念を浸透させる。

(2) 市民の「歩くライフスタイル」への行動変容を促す施策の実施(事業費:242,999千円)

過度に自動車に依存したライフスタイルからの脱却を図り、行動変容を促すICTを活用した施策を実施し、歩いて健康に暮らせるライフスタイルの定着を図る。

(3) セルロース化技術を活用した医薬品関連産業イノベーション創出(事業費:18,860千円)

機能性食品等の開発につなげることを目指し、セルロース化技術を応用し、健康効果の高い成分を高培養抽出する基礎研究及び臨床試験を行う。

(4) 果樹剪定枝等のバイオマス利活用実証(事業費:26,970千円)

バイオマスから創出する熱・電気エネルギーを公共施設・温浴施設・ハウス栽培等へ還元することにより、郊外部における再生可能エネルギーの推進可能性を検討する。

(5) ICT・AIなどを活用したスマート農業事業(事業費:58,012千円)

耕作放棄地を再生した大規模圃場において、ICTやAI、ロボット技術を取り入れたトラクターやドローン等を活用するスマート農業を導入することにより効率的かつ安定的なえごまの大規模生産体制の確立を図り、他の農産物へも利用拡大を図る。

(6) ICT技術などの先端技術を活用したスマート水産業事業(事業費:30,674千円)

ICT技術などの先端技術を活用したスマート水産業機器をほたるいか漁を定置網で行っている地区に導入し、各定置網の漁獲量及び魚種の把握や、環境情報の収集を行う。

【KPI】

内容	単位	基準値	R1		R2		R3		R4		R5
			計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値
1 公共交通沿線居住(公共交通が便利な地域に住む)人口の割合 ※「公共交通沿線居住地区」:鉄軌道の駅から500m以内、路線バスの内1日概ね60本以上運行される路線のバス停から300m以内の区域	%	37.20	37.89	38.84	38.58	39.73	39.27	39.91	40.02	39.94	40.82
2 SDGsについての市民の認知度	%	0	5	21	15	35	30	72	45		60
3 SDGsサポーターの協力者数	人	0	15	60	35	164	65	271	100	339	140

2. 富山市スマートシティ推進事業 [R2～R6]

これまでの「コンパクトなまちづくり」を継続・深化させるため、市が積極的に産学官民の情報を相互にやりとりしあう環境を提供し、将来のSociety5.0時代を見据えたIoT技術等の活用による「サイバー(仮想)空間のスマート化」に取り組むことで、こどもの見守り活動や道路、河川などの公共インフラの適正管理、さらには課題解決に向けた産学官の連携や民間技術を活かした新分野での市場の創出につなげる。

また、令和4年に策定した「富山市スマートシティ推進ビジョン」に基づき、市民生活の質や利便性を向上させるとともに地域特性に応じた市域全域の均衡ある発展を目指し、スマートシティ政策に取り組む。

総事業費(千円) ※R6の内容は、事業計画案(R5.3申請)であり、採択を受けたものではない。

R2	R3	R4	R5	R6	期間計
36,478	51,273	79,592	99,955	72,430	339,728

(1) 富山市センサーネットワーク保守・運用支援事業(事業費:154,176千円)

市全域(人口カバー率98.9%相当)に渡るLPWA網(LoRaWAN)と、当該ネットワーク網から収集したデータを管理するIoTプラットフォームからなる「富山市センサーネットワーク」を活用することにより、市自らが通信事業者の役割を担って、市全域に渡るIoTセンサー用のネットワーク網を提供する。また、センサーネットワークを民間企業等のIoT技術実証実験環境として無償提供することで、地域産業の活性化を図る。

(2) 富山市ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質向上事業(事業費:38,268千円)

電柱位置図、水道、下水道管路網図、ガス管路網図などを共有化し、「見える化」することで、社会インフラの適正な管理に利用するとともに、道路や橋りょう崩落等の大規模災害における影響範囲を速やかに把握し、官民一体となった災害の復旧体制の迅速化を図る。

(3) 富山市オープンデータサイト運営保守業務(事業費:4,103千円)

地域におけるデータの循環とシビックテックの活用のために「富山市オープンデータサイト」を構築し、各種行政情報を公開する。

(4) IoT技術を活用した官民インフラの適切な維持管理と新たな災害対応力の獲得に係る事業(事業費:51,981千円)

富山市センサーネットワークを活用した消雪装置の遠隔監視体制のモデルケースを検討する。また、IoT水位センサーを河川に流れ込む支流に対しても設置することで、市民に対し、より早く・正確な情報提供を行う。

(5) IoT技術を活用した直接的な地域課題解決に向けた新規事業(事業費:26,010千円)

郊外や中山間地域において将来に向けた持続可能な移動手段を確保するためにAIオンデマンド交通システムの導入等、IoT技術を活用した直接的な地域課題の解決に向けた事業を実施する。

(6) スマートシティ推進事業(事業費:65,190千円)

これまで取り組んできたコンパクトシティ政策を深化させ、市民生活の質や利便性の更なる向上を図るスマートシティ政策を推進する。具体的には、産学官が連携する「富山市スマートシティ推進プラットフォーム」を構築するとともに、共創拠点「スケッチラボ」を活用し、地域課題や市民の困りごとを解決するスマートシティ関連サービスを創出する。

【KPI】

内容	単位	基準値	R2		R3		R4		R5	R6
			計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	
1 富山市センサーネットワークを活用した民間企業等によるIoT技術実証実験公募累計数	件/年	23	33	45	43	61	53	74	58	63
2 こどもを見守る地域連携事業実施件数	校/年	16	30	30	43	43	57	57	65	65
3 富山市オープンデータサイトのデータセット数	件/年	87	94	97	101	101	108	101	115	122
4 市民や企業と連携したスマートシティ関連事業実施件数	件/年	11	—	—	—	7	14	16	18	23

3. オープンイノベーションを見据えた関係人口・交流人口創出事業 [R2～R6]

地域の担い手不足が課題となる中、地域外の多様な人材が関係人口・交流人口となる機会・きっかけを最大化させるため、来訪者にとって利用しやすい公共交通・キャッシュレスインフラを一体的に整備するとともに、各種プロモーションを行う。

これらの取組を通じて創出・拡大された関係人口・交流人口により官民連携プラットフォームを構築し、地域課題を解決する中で生まれるアイデアやソリューションを社会実装することによりオープンイノベーションを促進、官民が連携した持続可能なまちづくりを実現する。

総事業費(千円) ※R6の内容は、事業計画案(R5.3申請)であり、採択を受けたものではない。

R2	R3	R4	R5	R6	期間計
106,687	150,611	105,295	82,066	86,309	530,968

(1) 関係人口による官民連携プラットフォームの構築(事業費:92,545千円)

少子・超高齢社会に伴い、本市の財政需要が拡大する中、官民が連携した地域課題解決型の官民連携プラットフォームを構築し、地域課題を解決する中で生まれるアイデアやソリューションを社会実装することでオープンイノベーションを促進する。

・とやまシティラボ推進事業

本市が有する都市データ等を活用し地域課題を解決することを目的に、富山市域全体を「ラボ(実験室)」に見立てた地域課題解決型の官民連携プラットフォーム「スケッチラボ」を構築する。

(2) 関係人口創出のための環境整備(事業費:257,209千円)

多様な人材が関係人口となる機会・きっかけを最大化するため、来訪者の受け入れについて本市が課題としている富山駅周辺の公共交通・キャッシュレスインフラを一体的に整備する。また、実証によって得られたデータを官民連携プラットフォームでの検討に活用することで連携を図る。

・グリーンスローモビリティ導入事業

富山駅北側の移動手段の確保のため、低速で安全な「グリーンスローモビリティ」のモデル運行を行う。富山駅から富山駅北周辺の集客施設までの回遊性が向上されることで、地域外の来訪者にとって利用しやすい移動手段を確保する。

・全国共通交通系ICカード導入事業

路面電車(市内軌道線、富山港線)において、全国で相互利用可能な交通系ICカードシステムを導入・整備することで、地域外の来訪者の利便性向上、キャッシュレス化の推進を図る。

・顔認証決済システム導入による地域活性化事業

最新の顔認証決済システムを中心市街地等の店舗で導入し、キャッシュレス決済の利便性の向上・域内での消費活動の喚起を図る。

(3) 関係人口創出のためのプロモーション(事業費:181,214千円)

地域外の人々に対して、(1)・(2)の環境整備に併せて直接的なプロモーションを行うことにより、交流人口の拡大、関係人口の創出に繋げる。

・農林水産物プロモーション推進事業

・稼げる観光商品化支援事業

・富山ガラスラグジュアリーブランド普及拡大事業

・割山森林公園天湖森再整備事業

・教育旅行誘致推進事業

・薬業資料のデジタルアーカイブ化事業

・観光マップDX事業

【KPI】

内容	単位	基準値	R2		R3		R4		R5	R6
			計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績		
1 とやまシティラボで共創した地域課題解決案の数	件/年	0	4	24	12	28	24	74	40	60
2 とやまシティラボで実施する課題解決型のプロジェクトの市外からの参加人数(関係人口)	人/年	0	20	96	80	195	190	403	360	590
3 グリーンスローモビリティ及び全国共通交通系ICカード年間利用者数	人/年	0	8,700	2,530	41,800	125,879	90,200	438,997	154,600	235,000

4. 「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成[R1~R5]

重要な社会インフラである交通ネットワークの確保・充実に取り組むことによって、県民や来訪者のさらなる地域公共交通の利用や維持・発展により交通事業者の経営改善につながるとともに、観光振興・交流人口の拡大や、産業経済の活性化など地域の発展に寄与し、「とやまの未来創生」の実現に繋げる。(県下統一バスロケーションシステムの構築及び運営)

総事業費(千円) ※富山市負担分

	R1	R2	R3	R4	R5	期間計
	1,063	618	723	859	875	4,138

【KPI】

内容	単位	基準値	R1		R2		R3		R4		R5
			計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値
1 鉄軌道・バスの利用率 (県民1人あたりの年間利用回数)	回	46	46.5	<u>45.5</u>	47.05	<u>34.3</u>	47.6	<u>35.9</u>	48.15	39.70	48.7
2 観光客の県内交通機関の満足度	%	50.80	53.80	<u>45.2</u>	55.80	<u>49.4</u>	58.0	<u>52.7</u>	60	57	62
3 農林漁業等体験者数(県内における棚田オーナー、観光農園、地引網等の体験活動に参加した延べ人数)	人	68,199	70,073	<u>70,005</u>	71,947	<u>17,238</u>	73,822	<u>30,816</u>	75,697	(未公表)	77,572
4 富山空港国内・国際路線(チャーター便含む)の利用者数	人	573,120	576,730	<u>545,233</u>	581,395	<u>67,136</u>	586,060	<u>100,050</u>	590,725	251,509	595,390

5. 多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる観光地づくり推進事業」[R3~R5]

「特別感」のある多様な旅行商品やアクティビティの開発により「選ばれる観光地」としての魅力を引き上げる。そして、本県の「価値」に共感してもらえるターゲット層にアプローチし、コアな富山県ファン・リピーターを獲得、定住も含めた観光交流の促進等による県内経済の活性化を目指す。

また、首都圏における情報発信拠点「日本橋とやま館」における多彩な機能を活用し、富山の魅力を強みに発信する。さらには、富山県美術館におけるアートとデザインをつなぐ取り組みによる文化の創造・発信等により、地域の文化水準の向上に寄与し、県民の文化活動が活発に行われることなどで文化を通じた賑わいづくりを図る。

総事業費(千円) ※富山市負担分

	R3	R4	R5	期間計
	33,317	37,988	36,533	107,838

【KPI】

内容	単位	基準値	R3		R4		R5
			計画値	実績	計画値	実績	計画値
1 観光消費額単価(宿泊・日帰り)	円/人回	8,880	9,120	<u>11,075</u>	9,280	10,838	9,520
2 観光入込客数(実数)	千人	11,039	11,069	<u>10,737</u>	11,099	13,926	11,129
3 日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数	人	15,000	22,500	<u>13,272</u>	30,000	14,992	35,000
4 県立美術館等の年間来館者数	人	400,000	420,000	<u>559,457</u>	470,000	779,257	570,000

6. 開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト [R4~R6]

これまでも県民、事業者、行政の連携による全国初のレジ袋無料配布廃止や法制度のモデルとなった富山型使用済み小型家電リサイクルの実施、小水力発電の整備促進など、SDGs未来都市として環境・エネルギー先端県を目指して取り組んできた。さらに、国に先駆けて2020年3月にとやまゼロカーボン推進宣言を行い、2021年度は新たにカーボンニュートラル推進課を設置するなど、脱炭素社会実現に向け大きく動き出している。

このような自然的・社会的特性を活かし、本県は、2050年に向けて、グリーン・トランスフォーメーションに加え、サーキュラー・エコノミー(循環経済)の確立、それらを下支えする基盤となるデジタル・トランスフォーメーション(DX)を有機的に統合・推進し、脱炭素社会で生き残り選ばれる開疎な脱炭素コミュニティの形成を目指す。

総事業費(千円) ※富山市負担分

R4	R5	R6	期間計
360	0	360	720

【KPI】

内容	単位	基準値	R4		R5	R6
			計画値	実績	計画値	計画値
1 エネルギー消費量の2013年度比の削減率	%	6.3	7.8	15.8	9.4	10.9
2 県内市町村での地球温暖化対策進法実行計画(区域施策編)の策定率	%	26.7	40	27.0	53.3	66.6
3 一般廃棄物循環利用率	%	26	26.4	25.2	26.8	27.2
4 北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数	人	889	919	946	976	1,006

7. 富山で暮らそう！移住支援事業[R1~R4]

東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人手不足の解消を目的として、移住先の地方公共団体が地方創生推進交付金を活用して移住者に対し支援金を支給する。

総事業費(千円) ※富山市負担分(負担割合:国1/2 県:1/4 市:1/4)

R1	R2	R3	R4	期間計
1,600	4,200	10,600	22,500	38,900

【KPI】

内容	単位	基準値	R1		R2		R3		R4	
			計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績
1 本移住支援事業に基づく移住就業者数	人	0	155	3	310	11	465	17	620	22
2 本移住支援事業に基づく移住起業者数	人	0	5	4	10	9	15	19	20	23
3 本起業支援事業に基づく起業者数	人	0	5	4	10	8	20	30	20	38
4 マッチングサイトに新たに掲載された求人数	件	0	1,000	677	2,000	1,044	3,000	1,204	4,000	1,752
5 本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数	世帯	0	-	-	-	-	-	-	34	31

8. 富山で実現「いい移住」移住支援事業[R5～R9]

東京圏から本県へのさらなる移住促進、対象となる中小・中堅企業への就業を促進することで、本県から首都圏への人口流出に歯止めをかけ、産業競争力の強化や地域の活力、魅力向上を加速させる。

総事業費(千円) ※富山市負担分(負担割合:国1/2 県:1/4 市:1/4)

R5	R6	R7	R8	R9	期間計	
38,800	38,800	38,800	38,800	38,800	194,000	※R5年度採択時点

【KPI】

	内容	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
				計画値	計画値	計画値	計画値	計画値
1	本移住支援事業に基づく移住就業者数	人	87	262	462	687	937	1,212
2	本起業支援事業に基づく起業者数	人	20	40	60	80	100	120
3	マッチングサイトに新たに掲載された求人数	件	583	883	1,183	1,483	1,783	2,083
4	本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数	世帯	0	17	36	58	82	108

9. 賑わい交流館利活用交流推進事業[R1] ※地方創生拠点整備交付金のみ

平成28年9月に休館した「賑わい交流館」が、より多くの顧客の獲得と新たな人の流れを生み出す拠点となるよう、シネマホールを映画上映と各種イベントの両方に対応可能な、ゆったりと過ごすことができる「居心地の良い」空間としてリニューアルする。

また、上映内容の差別化、館内での各種イベントの開催等、営業面の強化にも取り組み、中心市街地への来訪者・滞在者の増加を図り地域経済への波及効果を高める。

総事業費(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	期間計
	43,780	—	—	—	—	43,780

【KPI】

内容	単位	基準値	R1		R2		R3		R4		R5
			計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値
1 賑わい交流館の映画入場料収入	千円／年	0	0	0	21,770	13,621	21,900	20,778	22,995	18,956	24,090
2 ライブホールの貸館収入	千円／年	0	0	0	3,000	385	3,120	1,101	3,240	2,324	3,360
3 中心商業地区の計12地点の歩行者通行量	人／日	36,126	36,126	37,252	36,257	33,022	36,389	37,117	36,522	32,979	36,657

10. 3x3バスケットボールコート整備事業[R2] ※地方創生拠点整備交付金・地方創生推進交付金

富山駅北側のスポーツ拠点である市総合体育館に隣接する市有地において、3x3の屋外バスケットボールコートを整備することで、スポーツ拠点としての機能を強化する。これにより、本市で機運が高まっているバスケットボールを通じた更なる賑わいの創出を図るとともに、本市に継続的に関わる関係人口や交流人口の創出・拡大を促進し、地域経済の活性化や消費需要拡大に伴う域内サービスの振興等、地域活力の維持・向上により、持続可能なまちづくりを実現する。

総事業費(千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	期間計
	40,880	—	—	—	—	40,880

【KPI】

内容	単位	基準値	R2		R3		R4		R5	R6
			計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	
1 3x3バスケットボールコートの年間利用者数	人	0	0	1,897	3,700	3,119	3,800	1,678	3,900	4,000
2 富山駅北地区(富山市牛島本町11-1)の地価公示額	円/㎡	324,000	0	330,000	334,000	331,000	344,000	360,000	354,000	364,000
3 歩行者通行量(富山駅北地区オーバードホール前)	人/日	3,356	0	1,616	3,456	2,893	3,556	2,074	3,656	3,756

11. 割山森林公園天湖森整備事業[R5] ※地方創生拠点整備タイプ・地方創生推進タイプ

細入地域における観光・レクリエーション施設の拠点である、割山森林公園天湖森の再整備をおこなうことで、地域内外からの集客を促すとともに、地域内産業等の活性化や交流人口の拡大を図る。

また、天湖森を地域外からの集客のきっかけとし、近隣の温泉施設「楽今日館」、道の駅「林林」への周遊の仕掛けを充実させることで、地域消費の増加による地域活性化及び交流人口の拡大を目指す。さらに、地元の雇用促進や地元の子どもの愛着醸成にも繋げる。

総事業費(千円) ※事業費については、事業計画案(R5.9変更申請)であり、採択を受けたものではない。

R5	R6	R7	R8	R9	期間計
449,472	—	—	—	—	449,472

※事業費449,472千円の内、3,146千円は地方創生推進タイプ(効果促進事業(ソフト事業))

【KPI】

内容	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
			計画値				
1 天湖森施設利用者数	人/年	15,390	15,390	15,775	16,160	16,545	16,930
2 天湖森売上	千円/年	33,566	33,566	37,566	37,766	37,966	38,166
3 楽今日館(周辺温泉施設)施設利用者数	人/年	76,984	76,984	77,949	78,914	79,879	80,844